

第4回 北東アジアOSS推進フォーラム 議長声明

2006年4月14日 中国・天津

2004年4月3日北京において日本・中国・韓国のIT担当局長が署名したメモランダムと、同時開催された第1回北東アジアOSS推進フォーラムの成果を受け、日中韓各国でオープン・ソース・ソフトウェア(以後「OSS」という)を推進する代表者は、日中韓のOSS推進の状況を確認し、日中韓の今後の協力に関する共通認識を得、2004年7月28日開催の第2回札幌会合においてワーキンググループ(WGs)を設置し、共同で運営することに合意した。2004年12月3日開催の第3回ソウル会合においては、次の3WGが設立され、活動を開始した。

WG1: 技術開発・評価

WG2: 人材育成

WG3: 標準化・認証研究

2006年4月14日開催の第4回天津会合において、日中韓出席者は各WGの成果を確認すると共に今後の計画案を承認した。

1. 北東アジアOSS推進フォーラム出席者は、コミュニケーションの場としてフォーラムを最大限活用し、相互協力と相互利益の精神の下、活動を提案する。
2. 2006年4月13日天津で開催された第4回日中韓IT担当局長会議における結論の趣旨を受け、オープンソースソフトウェア推進のための活動を実施することとする。
3. 3国の相互利益のため、3WGへの支援と協力関係を強化し、日中韓および全世界のOSSへのさらなる貢献を行う必要がある。3WGの結論の要旨は次の通りである。

-WG1

- 1) デスクトップサブWG、サーバーサブWGの設立に合意し、各サブWGのコンタクトパーソンを確定した。
- 2) サーバー及びデスクトップ分野における共同開発について、継続して議論を進めることを合意した。
- 3) 次回の会合を8月に韓国で開催することを合意した。

-WG2

- 1) OSSの教育を推進すること、グローバルコミュニティに貢献する人材を育成することを合意した。
- 2) OSSの開発者や利用者を育成するために、技能や知識の相互試験や認定、カリキュラムや教材の開発といった共同課題について議論する。
- 3) 上記目標を達成するために2つのタスクフォースを設立することを合意した。

-WG3

次の主要な項目の共同達成を踏まえて：

-) WG3 の議論の進め方を規定した手順指示書（ディレクティブ）の決定。
-) 多言語文字入力エンジンのインタフェースに対する日中韓統合要求仕様の合意。
-) 日中韓標準文書草案作成共同ワークショップを開催。
-) 組込みリナックスにおける領域特定ソリューションマップに関する研究。
-) ウェブデータの相互運用性に関する研究。

以下の新活動計画に取り組むことに合意した。

-) 多言語文字入力エンジンインタフェースに関する仕様書の作成。
-) 組込みリナックスにおける領域特定ソリューションマップに関する研究。
-) ウェブインターオペラビリティ問題の解決法の研究。

第 5 回北東アジア OSS 推進フォーラムは日本において開催予定とする。日時、場所に関しては中国、韓国と協議の上、日本が決定する。

中国、天津にて

ル ショウ クン

議長

中国オープンソースソフトウェア推進連盟